何で？と言う事を追求する事の必要性

石油の精製所をデザイン、建築していたCFブラウン・エンジニアリング・カンパニーでは、５W：誰が何を、どこで、いつ、何で行うのか？と報告する義務があり、守らなければクビになったそうです。

この鉄則の中でも、「何で？」と言う事を明確にする事が最も大事とされておりました。何故なら、「何で？」をクリアにする事で、人はその理由や重要さを理解することが出来て、納得して従う、もしくは理解せずとも従う可能性が高まるからだそうです。

とある実験で、人の列が出来ているプリンターを使うために先頭の人に対して「プリンターを使っても良いですか？」と割り込んでお願いしても大半の人がノーと答えました。しかし、「急いでいるのでプリンターを使っても良いですか？」と尋ねると一気にイエスと言う返事が返って来たとか。

そして、「何故なら、because。」と言うように相手に何かを説明する時に「何で？」と言う事を追求する事も大事なように、同じく、「何で？どうして？」と言うように相手に対して疑問を投げかける事も重要になってきます。

教育を通して習った事をイマイチ日常やお仕事に応用出来ないのは、この「何で？」と追及する事が足りていないからと言えるかもしれません。それは「何で？」と聞いて、深堀して、真実を追求する事なく、暗記と言うその場しのぎの行動を起こしてしまっているからではないでしょうか？

魔法の言葉と言われるThank youとPlease。それにbecauseとwhy?を加えてみたら、世の中がよりあなたに思い通りになったりするかもしれませんね。